



「コミュニティカレッジ」は堀川高校が提案する新しい生涯学習の形です。
先進的な施設設備を活用して、本校はもとより京都市および周辺の人的・物的学習資源を生徒・市民に還元する場であるとともに、
学ぶ楽しさを通して交流する場——京都市立高等学校21世紀構想委員会の提言を受けて堀川高校が企画・提供します。

『源氏物語』特別講座のお知らせ

堀川高校では、2006年から継続して岸本先生による市民向け源氏物語講座を行ってきました。講師の岸本先生には、源氏物語を読む通年講座を担当していただいたり、「文学歳時記」と題した特別講演をしていただいたりもしてきました。これまでの講座などでおなじみの方はもちろん、普段は古典にあまりなじみがないのだけれど・・・という方のご参加もお待ちしています。

日時／ 2026年3月14日(土) 午後2:00～4:00 (受付開始 午後1:30)

場所／ 京都市立堀川高等学校 授業研究室(北館2階)(希望者には、ZoomによるLIVE配信)

演題／ 紫式部のいちわる

講師／ 岸本 久美子 氏(堀川高校 元教頭)

講師プロフィール

山口県山口市出身。お茶の水女子大学国文科卒業。

京都市立高校で長年国語教育に携わったかわら、源氏物語を中心とする王朝文学関係の市民講座・講演の講師として活動されています。

堀川高校でも国語科の教員として、そして教頭としてご勤務され、その後、京都市立銅駝美術工芸高校(現・京都市立美術工芸高校)の校長を務められました。



～岸本久美子先生からのメッセージ～

源氏物語に登場する人物は400人とも500人とも言われ、主な人物だけ数えても数十人にはなるでしょう。よくもこれだけの人物を描き分けたものだとして作者紫式部の才能に感服します。それにしても、彼女は、それぞれの人物にどんな思いを込めたのでしょうか。今回は、物語の本筋とは関係なく登場し、鳥^{おこ}瀬の者として、徹頭徹尾笑いものにされている女性を二人取り上げてみました。

この人たちは随分意地悪な描き方をされていますが、これは紫式部の意地悪さの表れなのでしょうか・・・それとも・・・。原文を読みながら考えてみましょう。

◎申 込 先:『源氏物語』特別講座申込フォーム

グーグルフォーム: <https://forms.gle/qGziNKy2nYiZamDs8>

◎お問合せ先: 堀川高校 学務部 (Tel:075-211-5351)

◎申 込 締 切: 2026年3月11日(水)

※上履き・靴袋をご持参ください。

※個人情報保護の観点から、いただいた個人情報はこの講座以外の目的では使用しません。

※ご不明な点等がございましたら、堀川高校学務部(Tel:075-211-5351)までお問い合わせください。

